

中期経営計画(第3次)の
取組状況について

平成26年11月25日(火)
千葉県立病院運営懇談会

千葉県病院局中期経営計画(第3次)

1 策定方針

- (1) 医療を取り巻く環境変化に対応しつつ、県立病院の果たすべき役割と機能を強化し、医療の質の向上を目指します。
- (2) 患者の視点に立った患者サービスの向上を目指します。
- (3) さらなる経営基盤の強化を図るとともに、病院職員の力が最大限に発揮される環境づくりを目指します。

2 計画の4つの柱

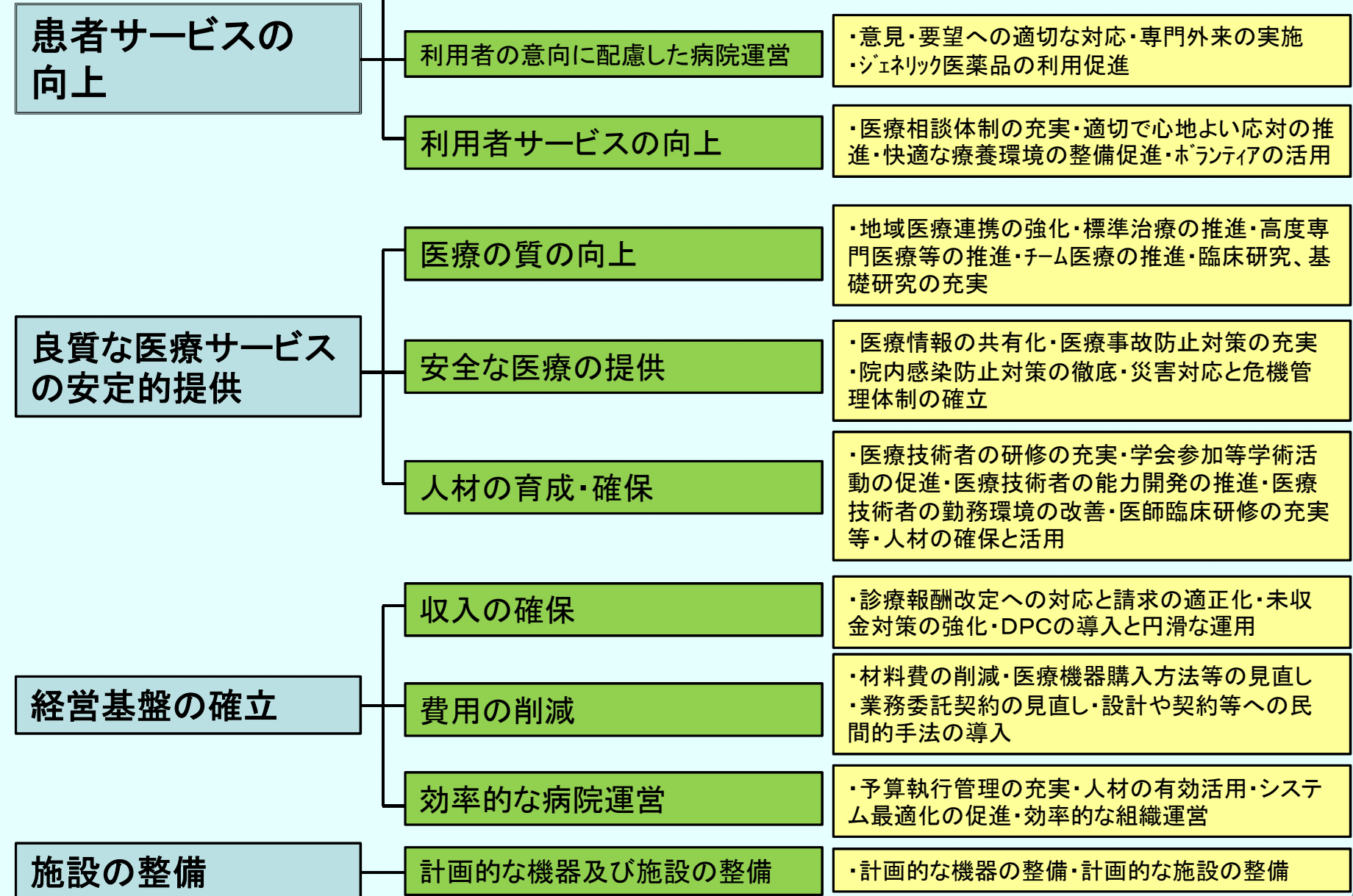
- (1) 患者サービスの向上
- (2) 良質な医療サービスの安定的提供
- (3) 経営基盤の確立
- (4) 計画的な機器及び施設の整備

3 計画期間

平成24年度から平成28年度までの5年間

※ 第1次計画(平成17年度～19年度) 第2次計画(平成20年度～23年度)

4 施策体系図



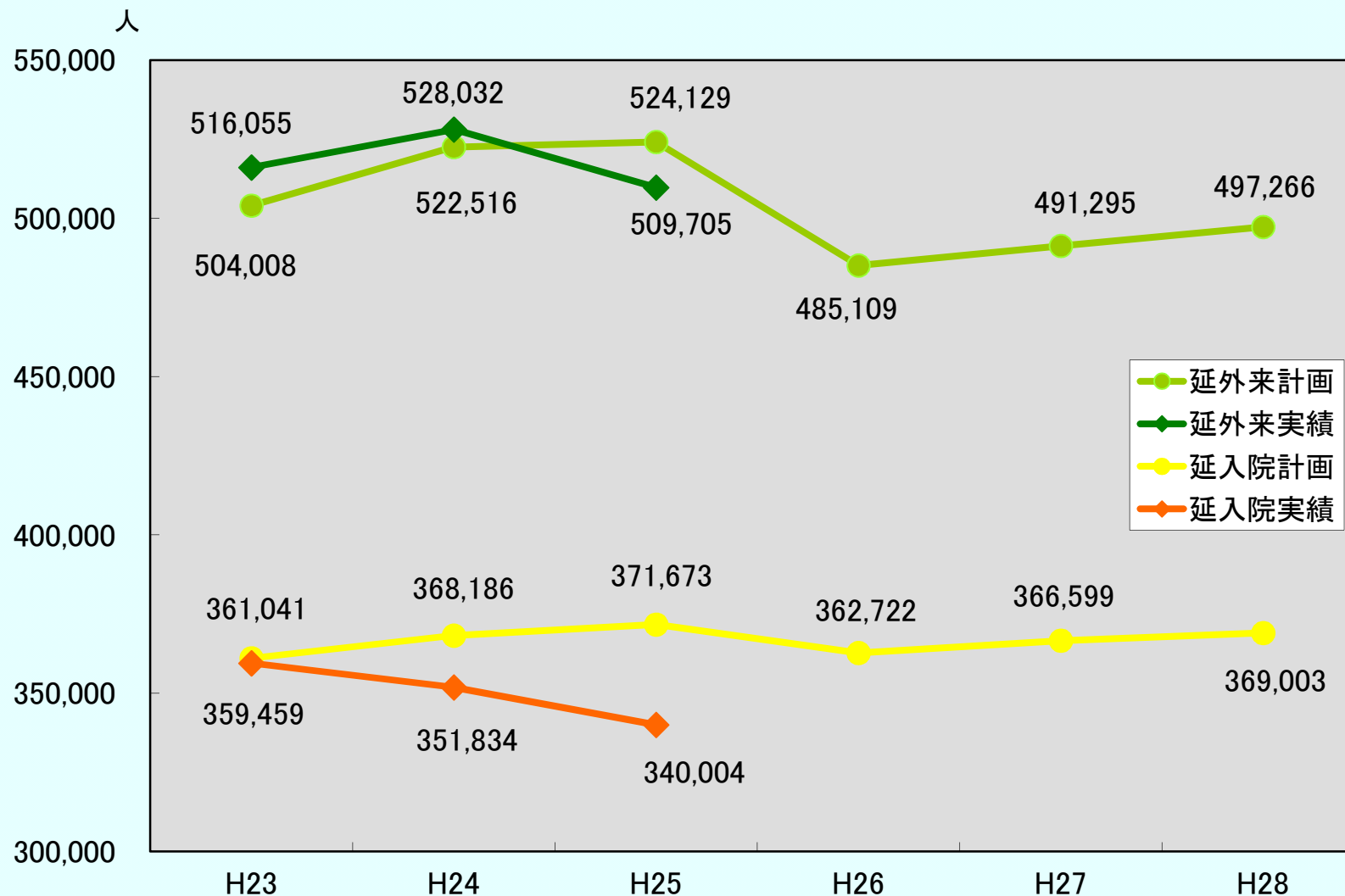
5-1 中期財政収支計画における総収支計画値及び実績

(単位:百万円)

区 分	24年度 (計画)	24年度 (実績)	25年度 (計画)	25年度 (実績)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
収益	43,812	44,014	44,889	43,828	43,799	44,371	44,890
医業収益	32,884	32,745	33,908	32,727	33,248	33,777	34,263
医業外収益	10,928	11,269	10,981	11,091	10,551	10,594	10,627
費用	43,137	42,727	44,188	43,649	42,673	42,767	43,244
医業費用	42,245	40,733	43,296	40,532	41,843	41,969	42,455
医業外費用	891	1,994	891	1,855	830	797	789
経常収支	676	1,287	701	1,431	1,126	1,604	1,646
総収支	676	1,287	701	180	1,126	1,604	1,646

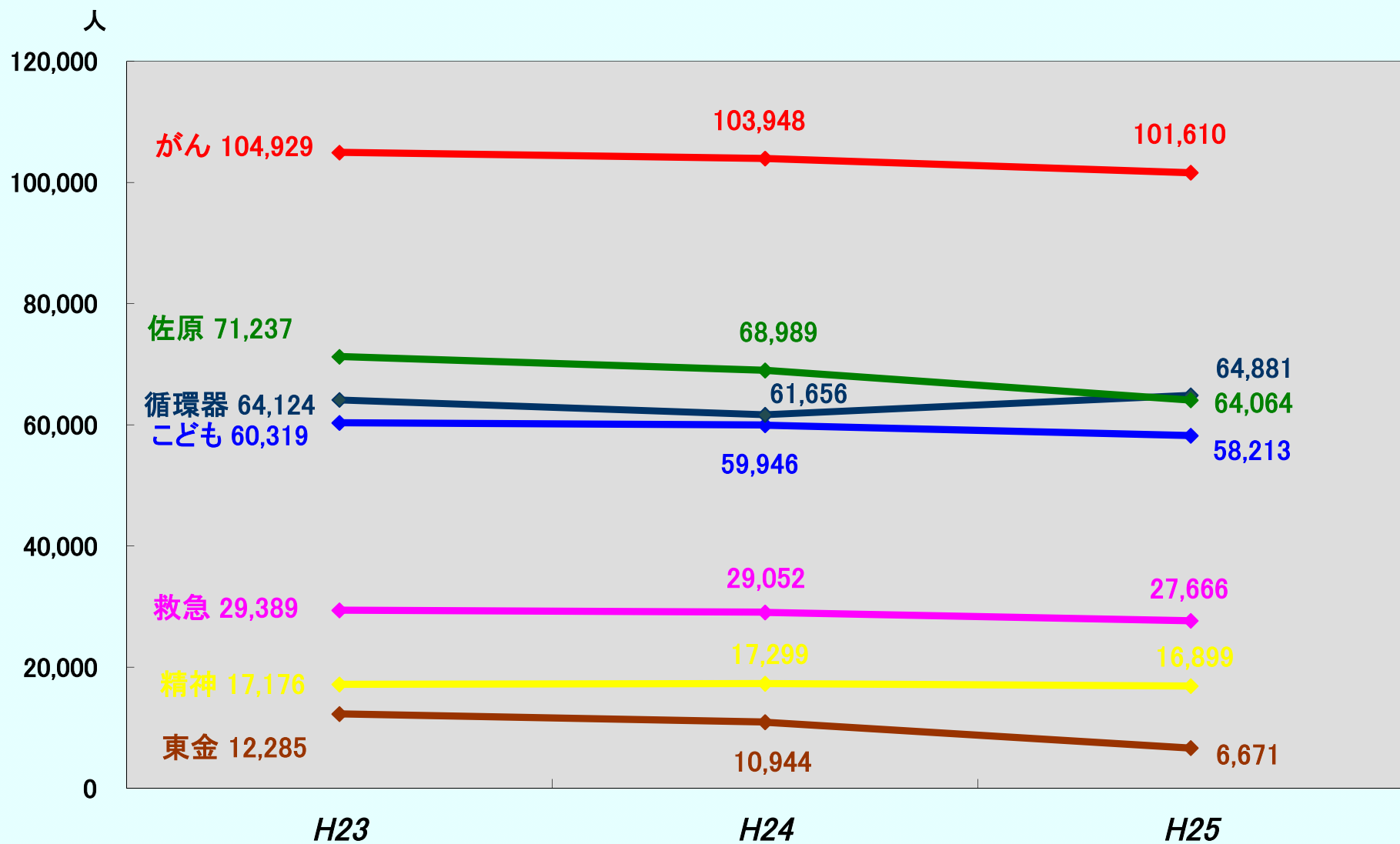
- ・平成26年度以降は、東金病院を除く数値。
- ・計画値は診療報酬の改定を加味していない。
- ・平成25年度は、会計制度の改正に伴う賞与引当金などの計上による特別損失（12億6,146万円）があり、純利益は約1億8千万円、4年連続の黒字。

5-2 延入院患者数・延外来患者数の推移

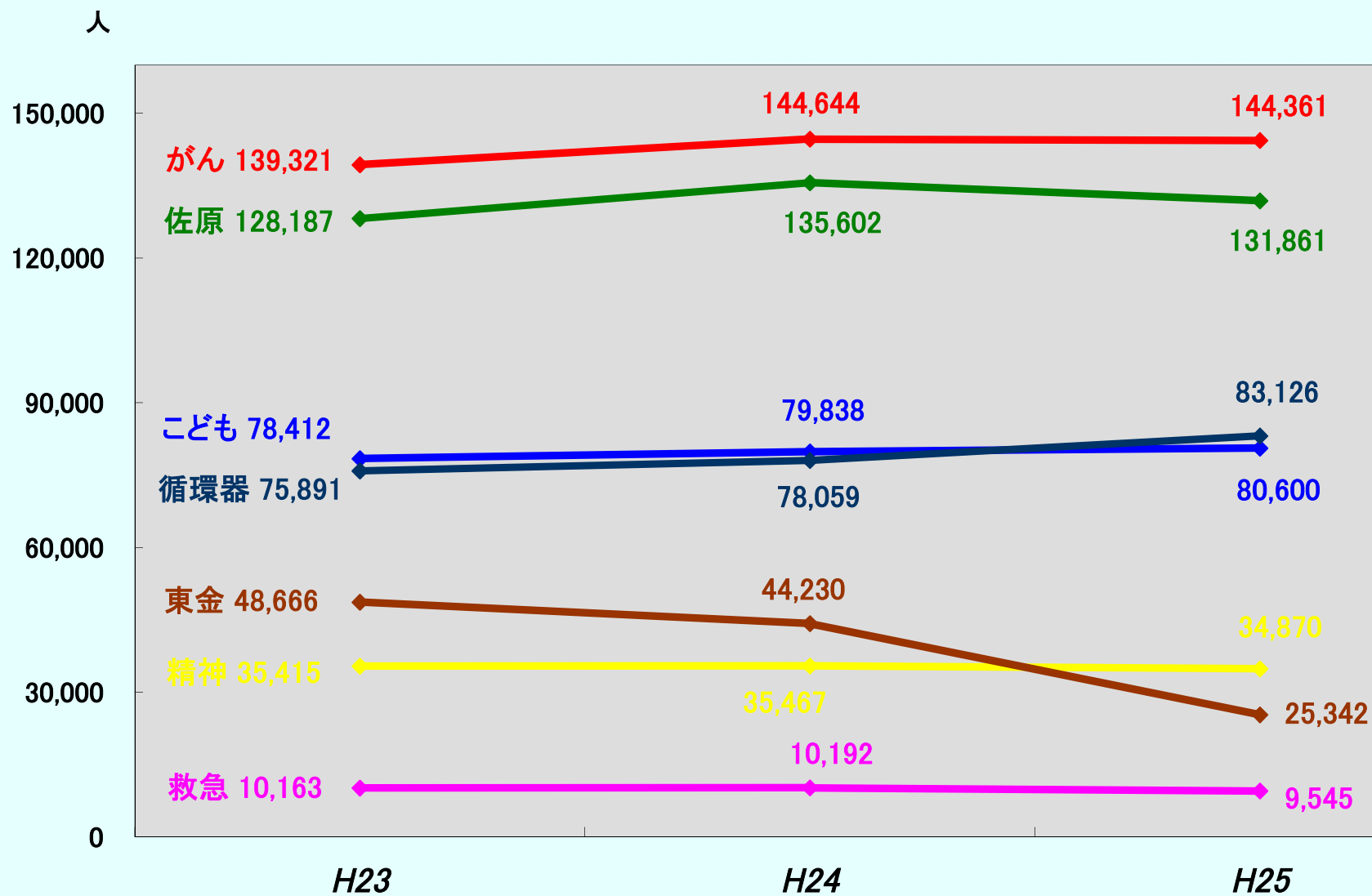


H24→H25の患者の推移(延入院△18,327人 延外来△11,830人)

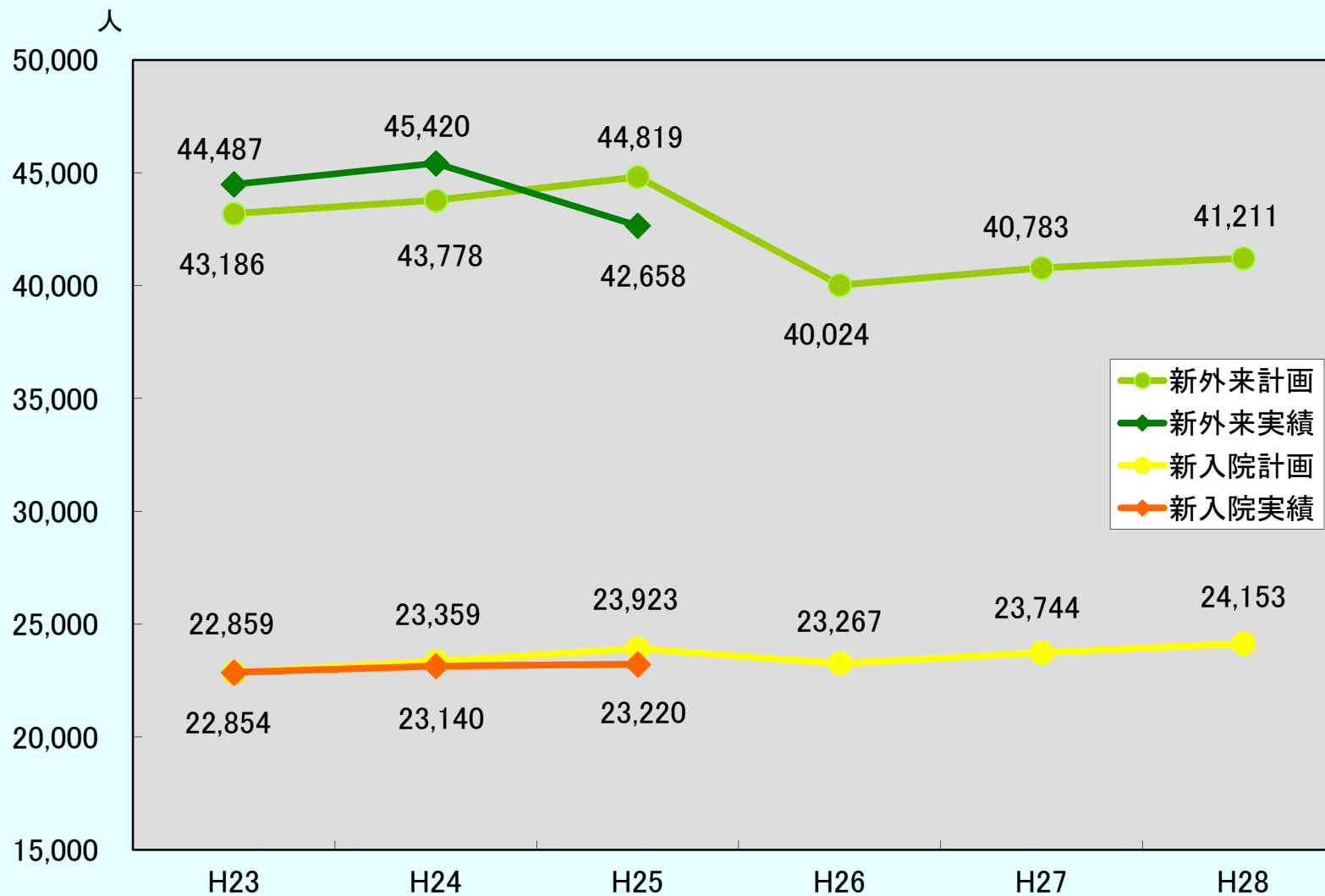
5-3 病院別 延入院患者数の推移



5-4 病院別 延外来患者数の推移

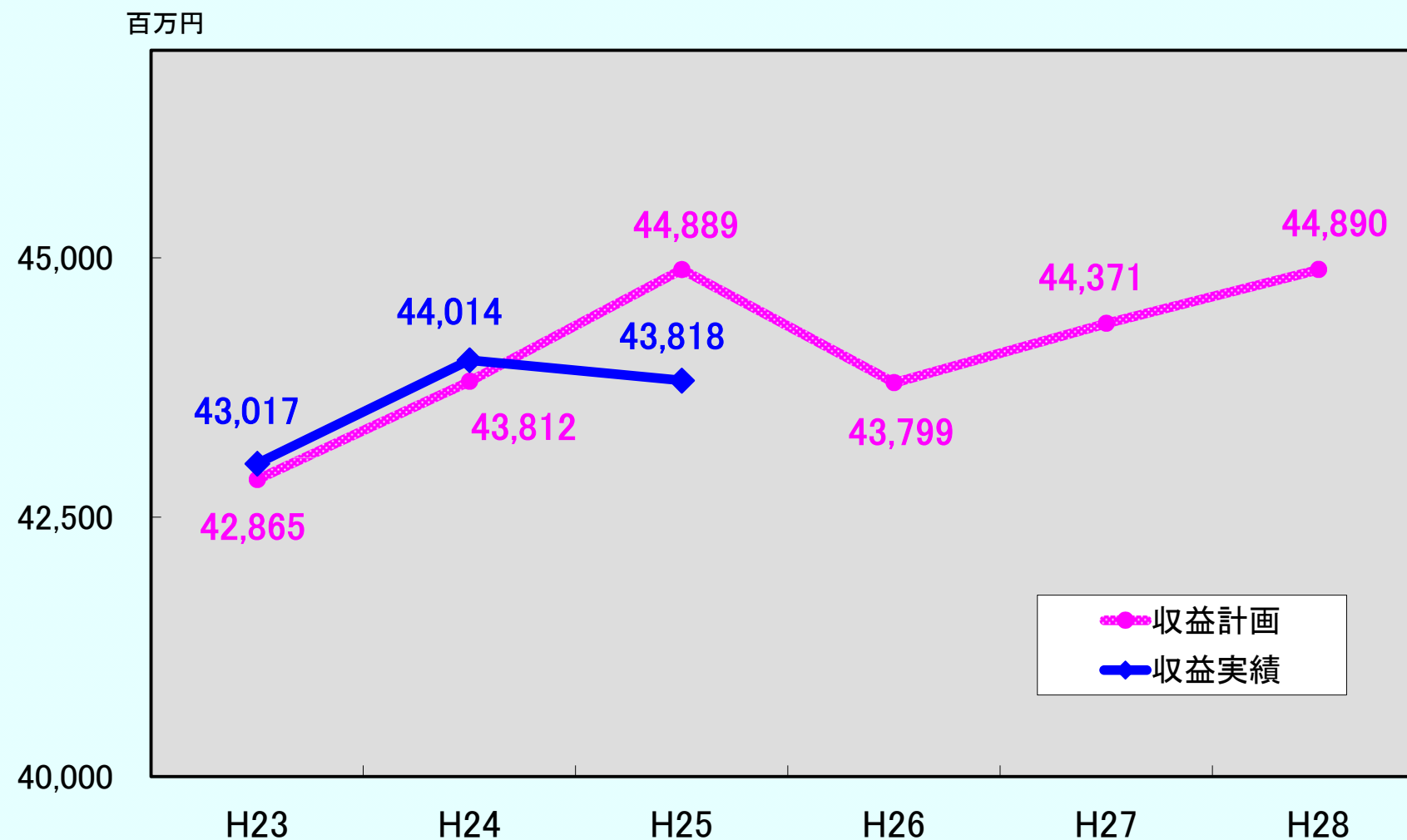


5-5 新入院患者数・新外来患者数の推移



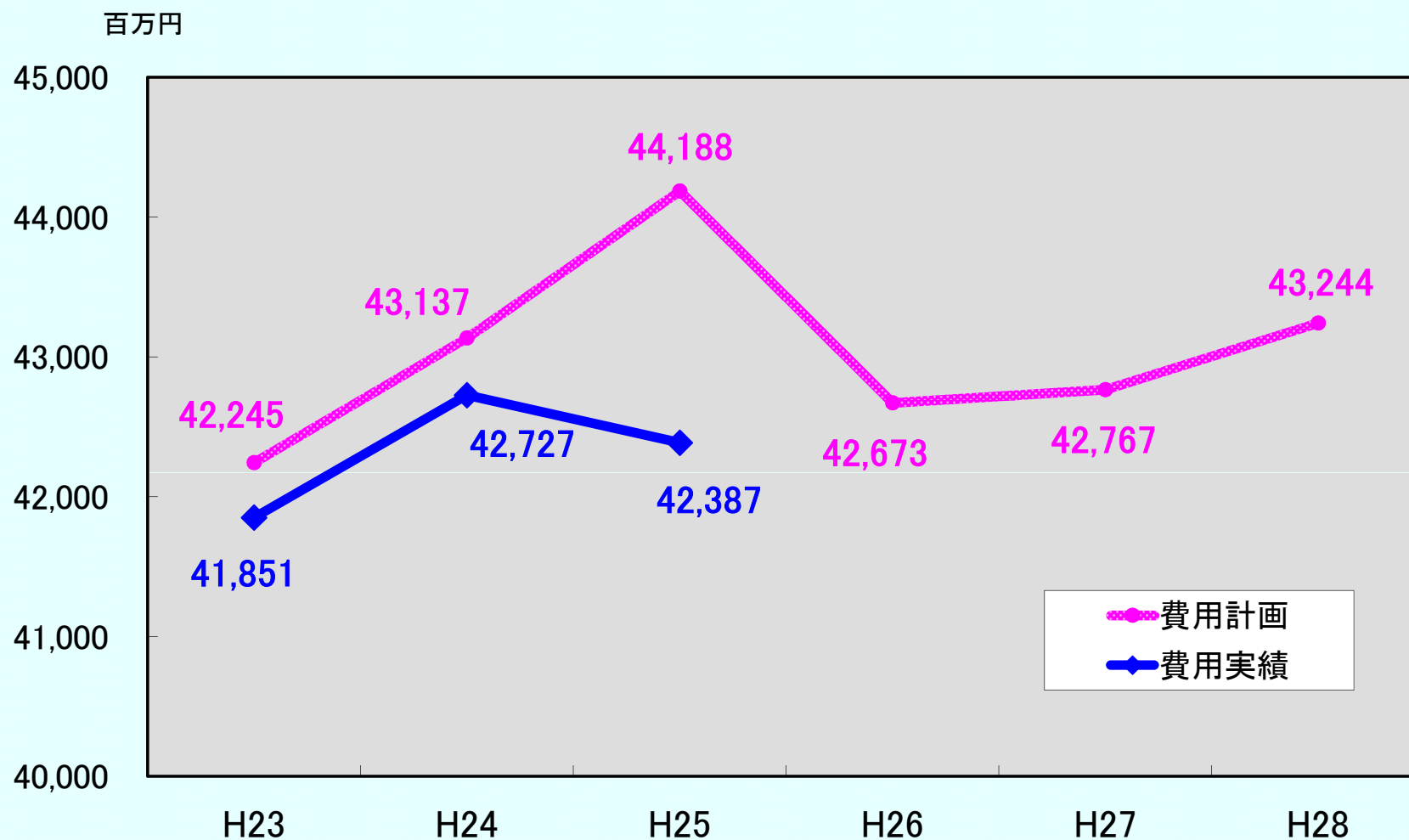
H24→H25の患者の推移(新外来△2,762人 新入院+80人)

5-6 収益の推移(病院事業全体)



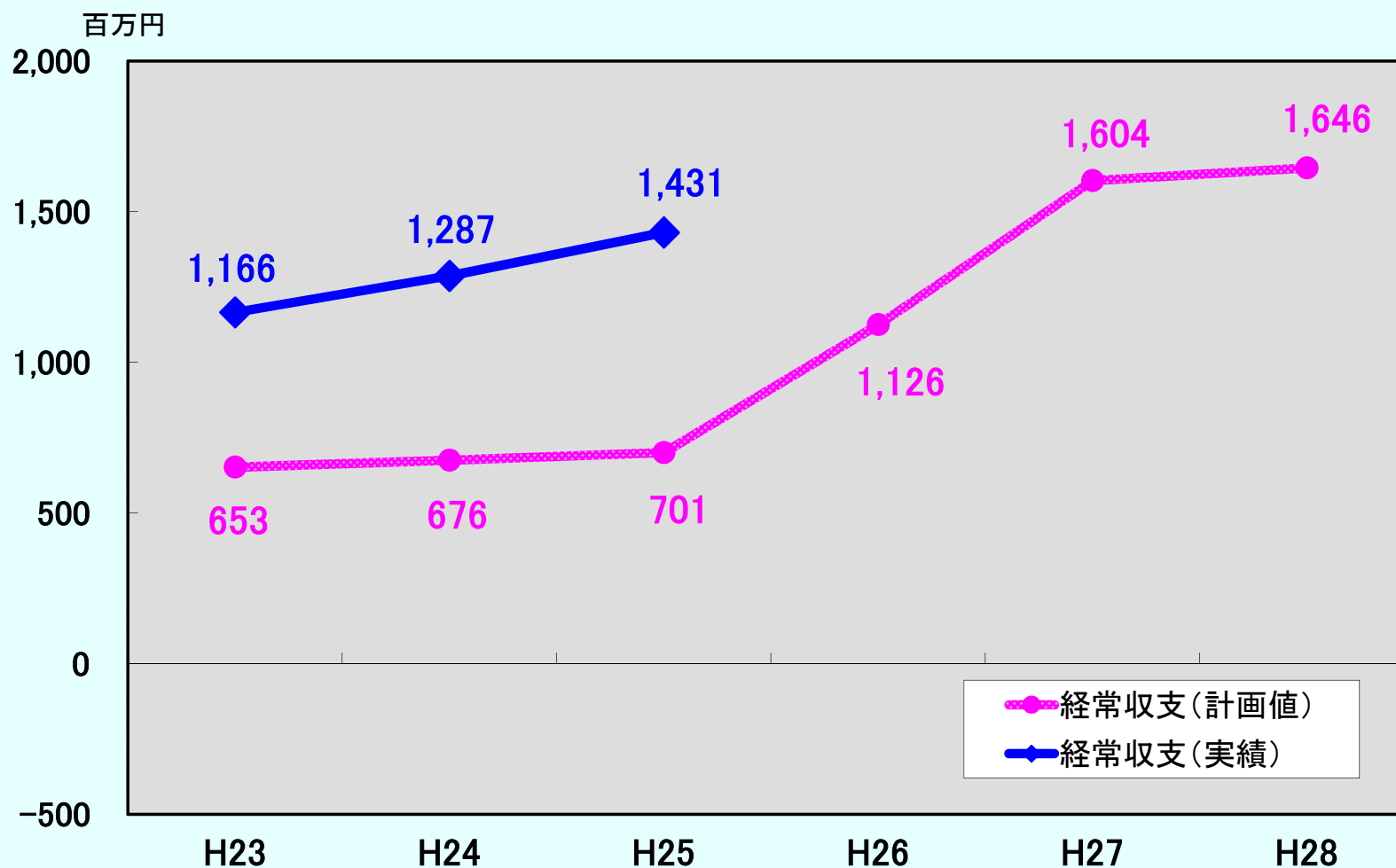
H24→H25の収益は、▲0.4%

5-7 費用の推移(病院事業全体)



H24→H25の費用は、収益の▲0.4%に対し、▲0.8%

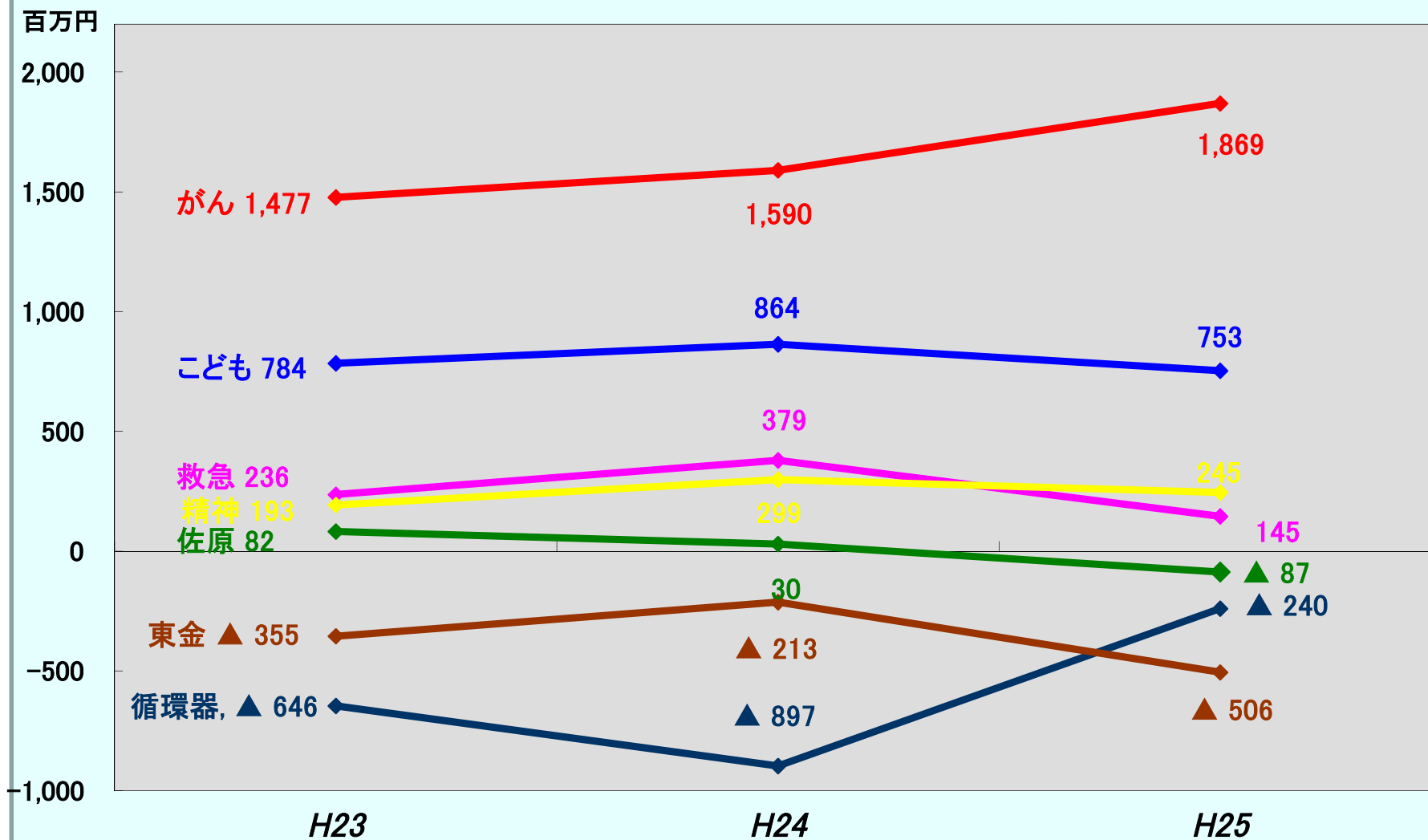
5-8 経常収支の推移(病院事業全体)



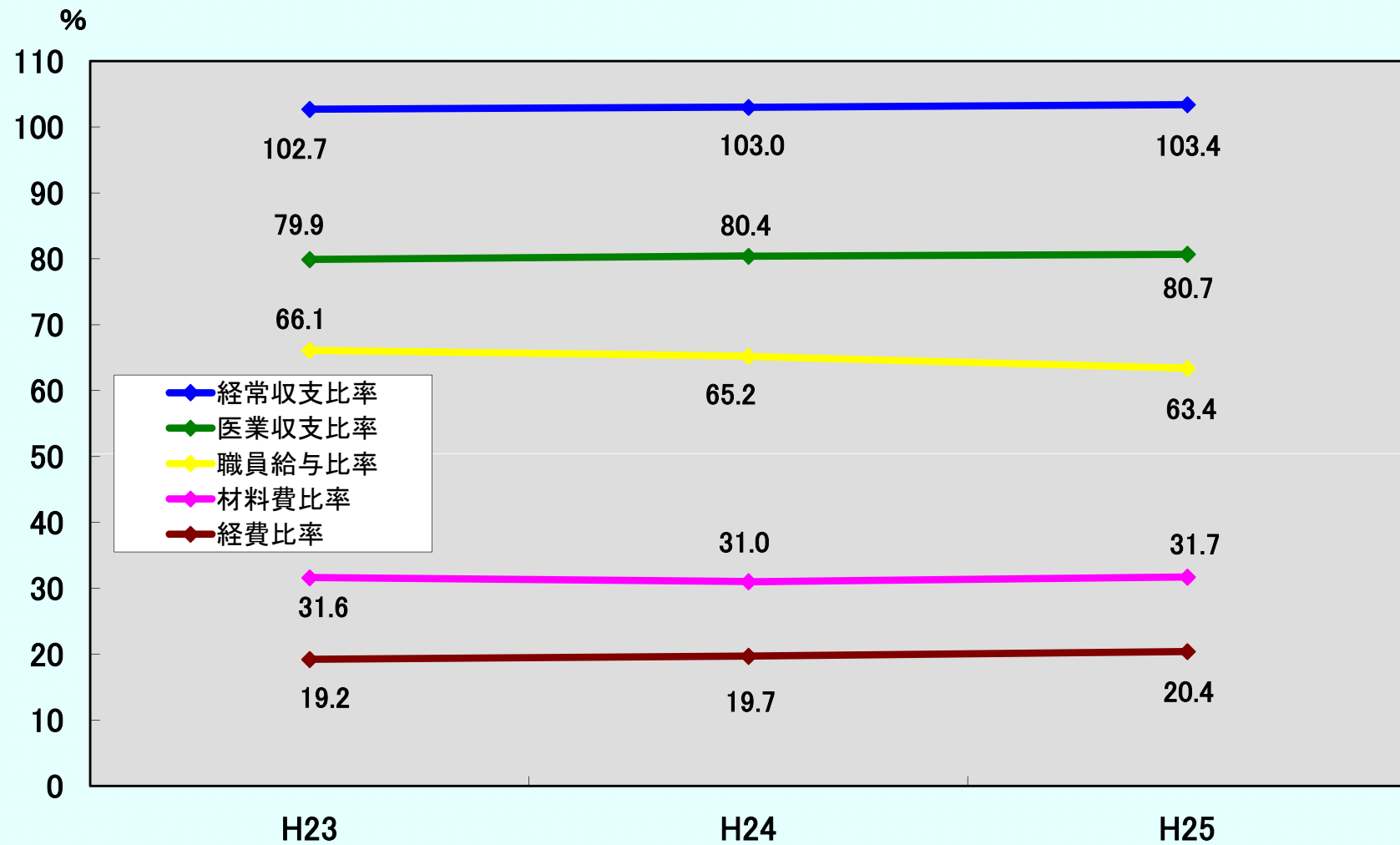
H24→H25の経常収支は+1.1%

H25純利益は約1億8千万円(特別損失 12億6,146万円)

5-9 病院別経常収支の推移



5-10 主な指標の推移(病院事業全体)



6 平成26年度上半期の状況(医業収益の対計画値・前年度比較)

(単位:人、百万円、%)

	計画(H26) ①	26年度上期 ②	25年度上期 (東金病院除く) ③	24年度上期	対前年 増減②-③	②/① (上期)
延入院患者数	362,722	161,353	166,366	175,890	△5,013	44.5%
延外来患者数	485,109	246,097	243,731	266,056	2,366	50.7%
計	847,831	407,450	410,097	441,946	△2,647	48.1%
入院収益	23,244	11,121	10,040	11,475	1,081	47.8%
外来収益	9,570	4,761	4,273	4,821	488	49.7%
その他医業収益	434	197	142	202	55	45.4%
医業収益	33,248	16,079	14,455	16,498	1,624	48.4%

26年度の病院局の取組状況

病院局

1. 患者サービスの向上

患者・県民への情報提供、利用者サービスの向上①

26年度の取組状況

○県立病院ホームページリニューアル実施

県立病院が提供する情報をより効果的に発信するため、病院局及び各県立病院のホームページをリニューアル。

- ・親しみやすいトップページデザイン
- ・サイト構成を見直し
- ・スマートフォンやタブレット端末対応



病院局

1. 患者サービスの向上

患者・県民への情報提供、利用者サービスの向上②

26年度の取組状況

○患者向け広報紙「千葉県立病院ニュース」の発行

- ・各県立病院で行っている治療や健康レシピの紹介など、取組内容を患者さんに広報するため、25年3月から発行。各県立病院で配布（年4回発行）。

○患者満足度調査の実施

- ・外来患者、入院患者を対象に医療面、接遇、環境、待ち時間、食事、駐車場などについて満足度調査を実施し、快適な療養環境の整備促進等に努めている。

病院局

2. 良質な医療サービスの安定的提供

医療の質の向上

26年度 of 取組状況

○高度専門的な医療等の推進

- ・先進医療の実施状況(H26(9月末現在))〔がんセンター〕
- ・抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査 19件
- ・術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 59件
- ・医療機器の整備(H26)
 - ・MR I 3T (磁気共鳴画像診断装置) 〔がんセンター〕
 - ・X線透視診断装置 〔循環器病センター〕

病院局

2. 良質な医療サービスの安定的提供

人材の育成・確保①

26年度の取組状況

○医師の確保

- ・千葉大学をはじめ、医科大学に対する医師の派遣要請
 - ・初期臨床研修・レジデント制度による若手医師の確保・育成 等
- ⇒26年度採用：臨床研修医13名、レジデント9名
⇒27年度採用予定：臨床研修医 7名、レジデント8名
(追加募集中)

○看護師の確保

- ・キャリア開発支援：認定看護師の育成
- ⇒26年度：4名取得（計43名）

病院局

2. 良質な医療サービスの安定的提供

人材の育成・確保②

26年度の取組状況

○コメディカル職等の確保

⇒26年度 : 薬剤師3名, 放射線技師1名, 臨床検査技師7名,
理学療法士3名, 言語聴覚士1名,
臨床工学技士1名, MSW 1名

⇒27年度予定 : 薬剤師1名, 臨床工学技士1名, 診療放射線
技師2名, 理学療法士2名, 作業療法士7名

○社会人採用

⇒19年度から実施 : これまでに 6 名採用

○資格取得支援等

・病院局職員の資格取得支援⇒26年度 : 147名

病院局

3. 経営基盤の確立

収入の確保・費用の削減

26年度の取組状況

○診断群分類別包括制度(DPC)の導入

⇒循環器病センターで26年4月から導入

○薬品、診療材料、給食材料、事務用品等の共同購入

⇒薬品共同購入品目数 (H25上半期) 3,343→ (H26上半期) 3,311

○後発医薬品の利用推進

⇒23年に後発医薬品採用検討委員会を設置、26年は2回開催
採用品目数：(H25.4) 786品目→ (H26.4) 829品目

○委託業務に関する一括契約

⇒エレベーター設備保守点検, 消防設備保守点検, CT・MRI等保守点検 等

病院局

4. 施設の整備

計画的な施設の整備

26年度の取組状況

○がんセンター施設整備

⇒施設の老朽化・狭隘化が著しいことに加え、高齢化の進展、今後のがん医療の集約化を踏まえ、引き続き、都道府県がん診療連携拠点病院として、高度かつ先進的な医療を提供する観点から、新棟整備に向け現在、「基本設計」を行っている。

《今後の整備スケジュール(予定)》

- ・平成27年度～ 実施設計
- ・平成28年度～ 建設工事
- ・平成30年度中 新棟オープン
(～平成33年度 解体、改修、外構整備ほか)

○東金病院閉院

⇒東千葉メディカルセンターの開院に伴い3月31日に閉院

26年度の各県立病院の取組状況

がんセンター

26年度の取組状況

【良質な医療サービスの安定的提供・経営基盤の確立】

○放射線治療、画像診断機能の強化

従来装置に加えてさらに最新型IMRT、MRIの追加増強による収益拡大

○5年生存率情報公開webの強化。国立がん研究センターと共同で、多言語対応も。世界的にも高水準な先駆的取組

【患者サービスの向上】

○駐車場拡充によるホスピタリティの強化。外来アクセスの利便性向上

救急医療センター

26年度の取組状況

【全県に対する救急医療の安定的供給への支援】

- 東葛飾地域、山武・長生・夷隅地域における「救急コーディネート事業」を実施、ドクターヘリ(千葉県消防防災ヘリを含む)による救急患者受入増加、IT応需システム試行への参画

【人材の確保と教育】

- ホームページも活用し、若手医師の確保に努める。特に救急科医師のサブスペシャリティ研修受入を積極的に受け入れる

精神科医療センター

26年度の取組状況

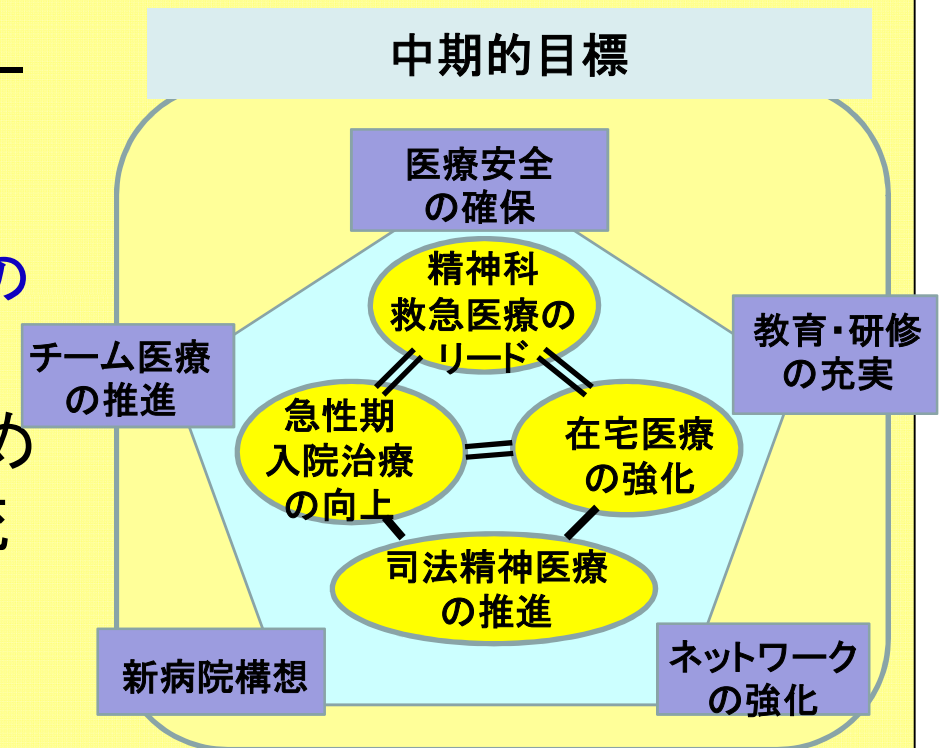
【精神科三次救急医療施設としての機能発揮】

○精神科救急医療情報センターの機能強化

【医療相談の充実と包括的地域ケアの推進】

○早期退院と再入院防止のための心理教育・家族教室の拡充

○在宅医療の強化、多職種アウトリーチ活動の推進



こども病院

26年度の取組状況

【患者サービスの向上】

○こども家族支援センターに副看護局長を専従させ、相談機能の充実を図った

【先進的な医療の導入】

○整形外科における最新手術法の実施や体外衝撃波疼痛治療装置の導入、代謝科における細胞外フラックスアナライザーの導入によるミトコンドリア病検査体制の確立等、先進的な医療の導入を図っている

循環器病センター

26年度の取組状況

【経営基盤の確立】

○DPC導入による経営改善とDPCデータに基づく病院機能の向上。機能評価係数の向上に向けた対策の強化

【良質な医療サービスの安定的提供】

○高度先進医療を目指したハイブリッド手術室認可の取得
TAVRやASDなどのカテーテル治療の体制整備

○東金病院機能移転に伴う診療機能強化。糖尿病・慢性腎臓病 (CKD)・透析の重症化予防の診療体制強化

佐原病院

26年度の取組状況

【施設の整備】

○老朽化した手術室に対応するため、手術棟の設置を行っている

【良質な医療サービスの安定的提供】

○放射線画像情報統合管理システムの更新など、医療機器の整備を行い、より安心・安全な医療の提供を図る

【地域医療連携の推進】

○地域医療支援病院の取組みとして、地域の医療従事者への研修を充実し、資質の向上を図る

○地域医療連携推進協議会を通じ、地域医療の向上と病院間の連携強化を図る